

2005年5月開催の駅周辺まちづくりフォーラムに参加くださった方から感想を頂きました。

**澤田さん**

「まちづくり」はまず掃除から？

大学院在学中は「歴史的建造物の保存活用はまず掃除から」を合言葉にいくつかの古い建物を掃除しました。掃除をすることで古い建物の歴史的価値という魅力が誰の目にも見えやすくなります。何も特別な作業をするわけではありません。誰にでもできる掃除という作業で古い建物が見違えるようになるのです。建物にあった備品等をセンスよく<sup>しつら</sup>設えてライトアップでもすれば、所有者の方は建物を人には貸さずに自分で使いたくなってしまおうようです。

「まちづくり」は自分の住む地域の魅力を再発見することからはじまると思います。歴史のあるまち、新しいまち、どんな「まち」にも魅力はあるはずです。合言葉の「歴史的建造物の保存活用はまず掃除から」ではありませんが、誰にでもできることから始めて「まち」の魅力を誰の目にも見えやすくすることが大切だと思います。

フォーラムに参加した感想

パネラーとしてフォーラムに参加させていただき、大変勉強になりました。ありがとうございます。至らぬところばかりだったのではないかと反省しております。

短い時間でしたけれども、国立は、商業、芸術、地域コミュニティ、その他たくさんの活動が成熟している町だと知りました。成熟した活動は、ともすれば立場や言い分がややこしくなり、協働することが難しくなりがちです。あの愛らしい国立駅舎を旗印に、皆が同じ方向を向いて一致団結されることを願っています。そして、まちづくりの先駆けとして、より魅力的な素晴らしい町をつくられることを期待しています。

今後、私に関わるまちづくりでは、先進例として国立を紹介させていただきたいと思います。

**津久井さん**

みなさん国立を愛しているということが伝わってきました。このようなフォーラムを継続的に開催し、多様な主体が集まり、100年後を目指したビジョンを共有化し、それをひとりひとりができることから実現していければ夢が叶うのではないのでしょうか。私もそのひとりとして少しでも力になればと思います。